

【動物の愛護と管理についてのアンケート】

調査期間 R2.9.15 ~ R2.9.28
回答率 91.4% 回答者数 288人

アンケートの趣旨

毎年9月20日から26日は、動物愛護週間です。

香川県では、近年、犬や猫の収容・殺処分数は減少しているものの、全国的に比較すると、殺処分数、殺処分率ともワースト上位に位置しています。

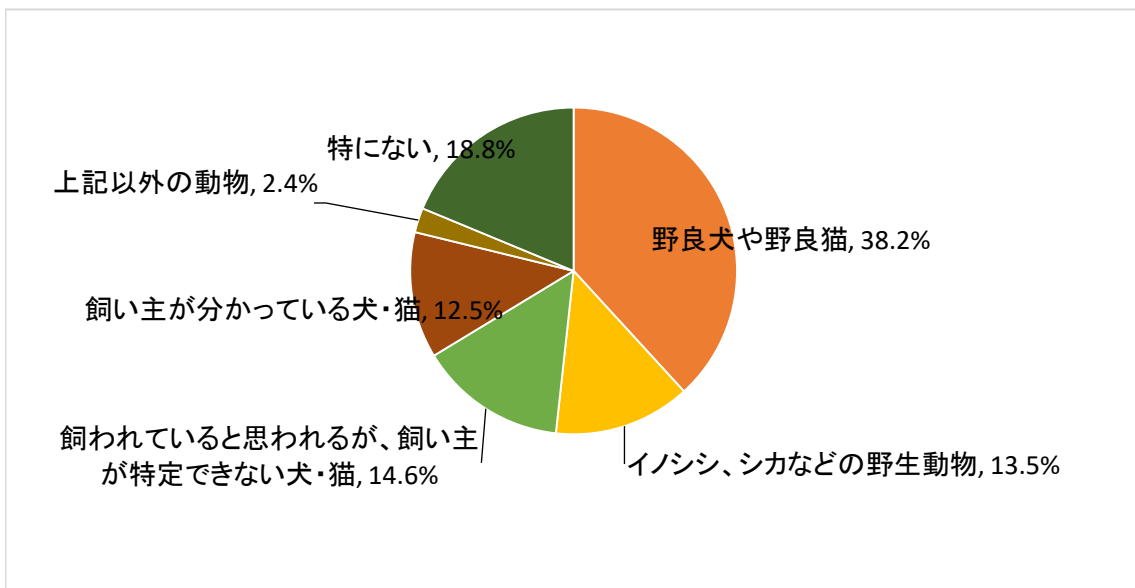
このような状況を改善するため、平成31年3月に開所した「さぬき動物愛護センター しっぽの森」において、子どもたちを対象とした動物愛護教室や、犬のしつけ方教室などを開催し、命の大切さや動物の正しい飼い方などの動物愛護管理に関する情報発信を行うとともに、ボランティアと協力しながら保健所に収容された犬猫の新しい飼い主への譲渡を進めています。

県では、本県における動物の愛護と管理に関して、基本的な方向性や中長期的な目標を明確にするため「動物愛護管理推進計画」を策定し、平成20年度から計画に基づく取組みを実施しています。

このアンケートでは、県民の皆さんの動物の愛護と管理に対する考え方をお伺いし、今後の推進計画の見直しに役立てていきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

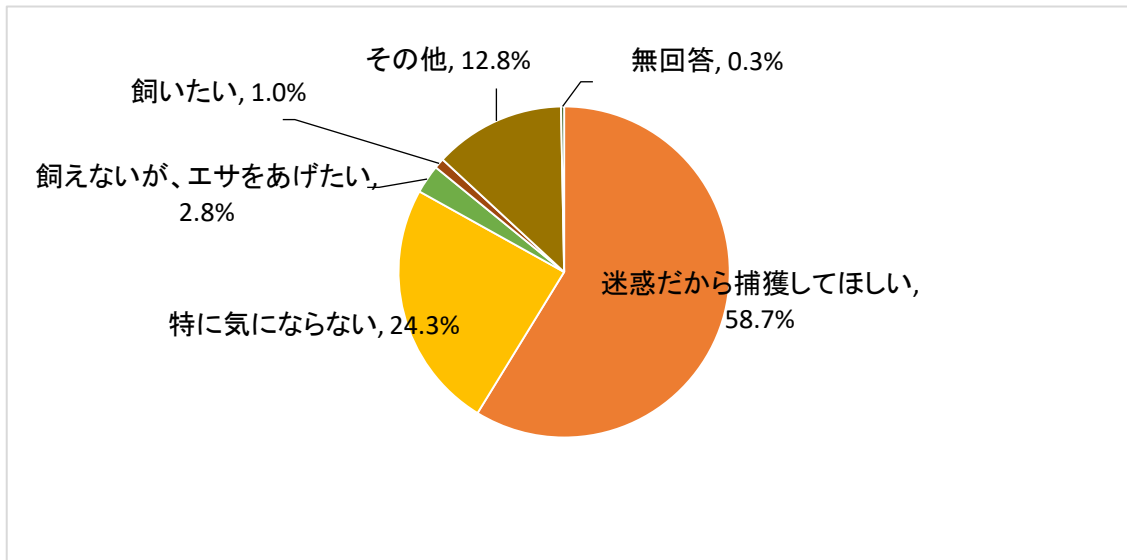
【問1】動物のことで迷惑を感じたことがありますか。ある場合は、それはどんな動物からですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
野良犬や野良猫	110	38.2%
イノシシ、シカなどの野生動物	39	13.5%
飼われていると思われるが、飼い主が特定できない犬・猫	42	14.6%
飼い主が分かっている犬・猫	36	12.5%
上記以外の動物	7	2.4%
特にない	54	18.8%
計	288	100.0%



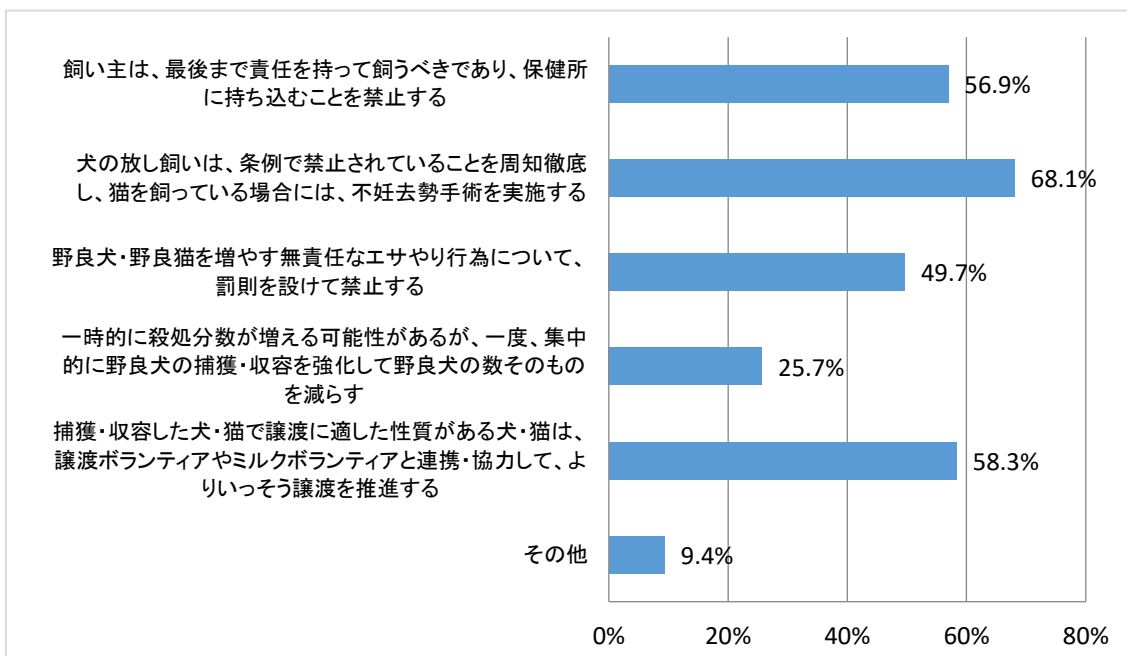
【問2】あなたのお住まいの周辺に、野良犬がいた場合、どう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
迷惑だから捕獲してほしい	169	58.7%
特に気にならない	70	24.3%
飼えないが、エサをあげたい	8	2.8%
飼いたい	3	1.0%
その他	37	12.8%
無回答	1	0.3%
計	288	99.9%



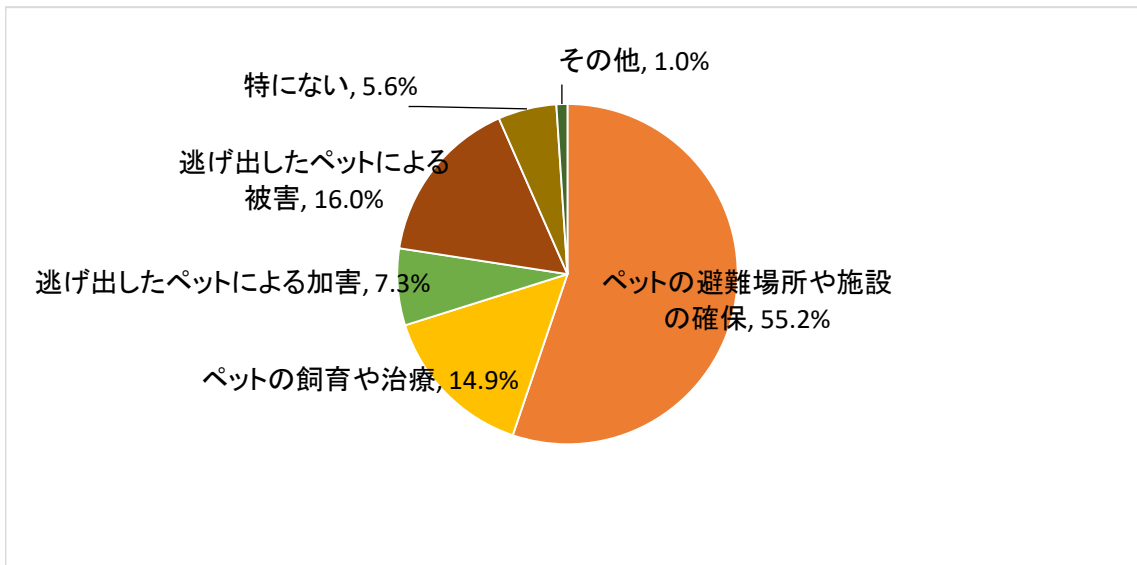
【問3】犬・猫の殺処分数を減少させるためには、どうすればよいと考えますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 288	
	回答者数	構成比
飼い主は、最後まで責任を持って飼うべきであり、保健所に持ち込むことを禁止する	164	56.9%
犬の放し飼いは、条例で禁止されていることを周知徹底し、猫を飼っている場合には、不妊去勢手術を実施する	196	68.1%
野良犬・野良猫を増やす無責任なエサやり行為について、罰則を設けて禁止する	143	49.7%
一時的に殺処分数が増える可能性があるが、一度、集中的に野良犬の捕獲・収容を強化して野良犬の数そのものを減らす	74	25.7%
捕獲・収容した犬・猫で譲渡に適した性質がある犬・猫は、譲渡ボランティアやミルクボランティアと連携・協力して、よりいっそう譲渡を推進する	168	58.3%
その他	27	9.4%



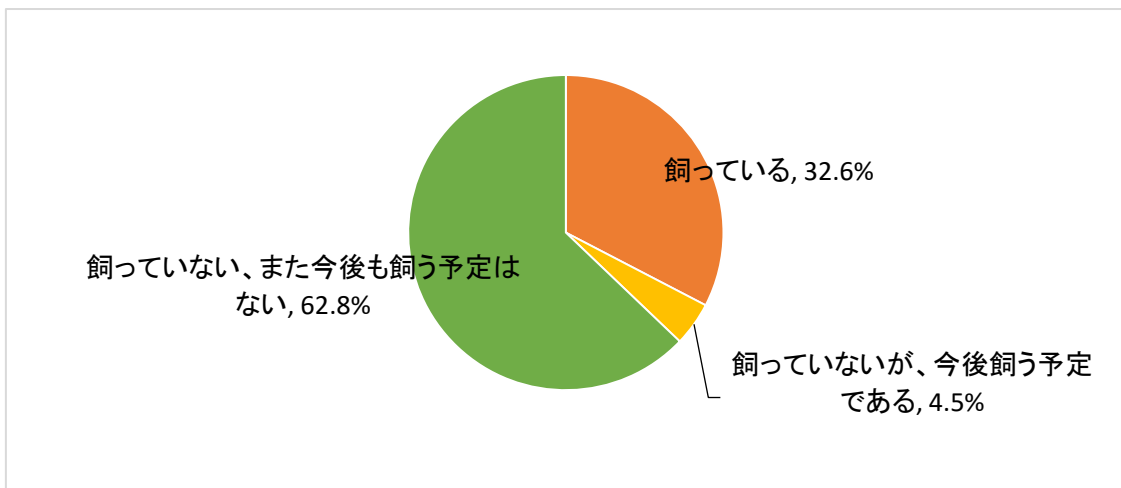
【問4】災害時にペットに関することで、一番不安なことは何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
ペットの避難場所や施設の確保	159	55.2%
ペットの飼育や治療	43	14.9%
逃げ出したペットによる加害	21	7.3%
逃げ出したペットによる被害	46	16.0%
特にない	16	5.6%
その他	3	1.0%
計	288	100.0%



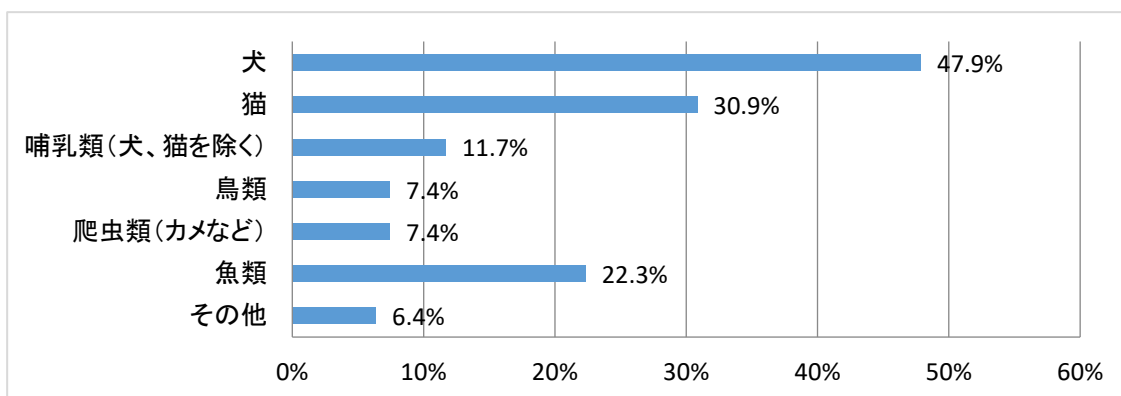
【問5】あなたは、ペットを飼っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
飼っている	94	32.6%
飼っていないが、今後飼う予定である	13	4.5%
飼っていない、また今後も飼う予定はない	181	62.8%
計	288	99.9%



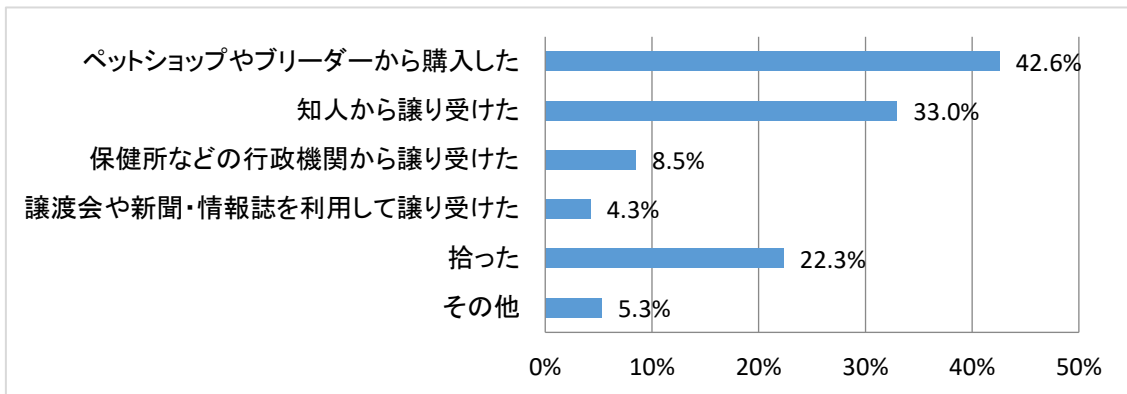
【問6】問5で「飼っている」と答えた方にお聞きします。あなたは、どんなペットを飼っていますか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

選択肢	回答者数 94	
	回答者数	構成比
犬	45	47.9%
猫	29	30.9%
哺乳類(犬、猫を除く)	11	11.7%
鳥類	7	7.4%
爬虫類(カメなど)	7	7.4%
魚類	21	22.3%
その他	6	6.4%



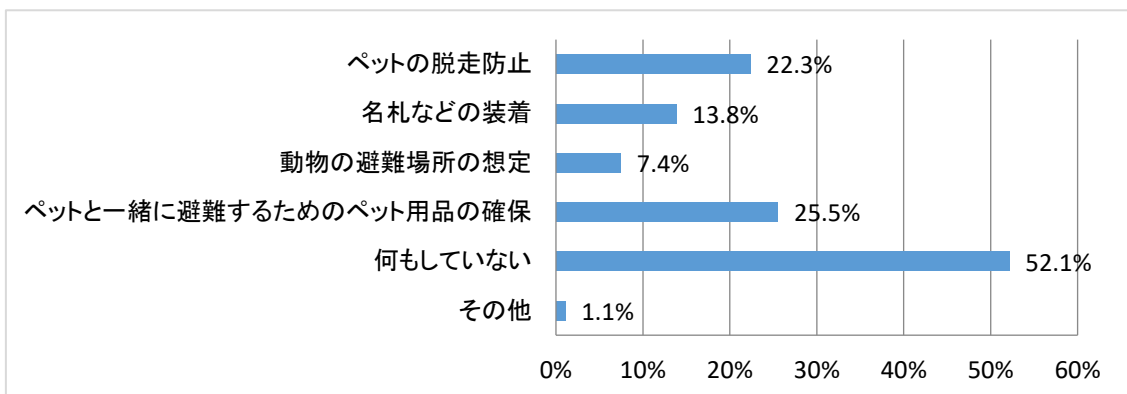
【問7】問5で「飼っている」と答えた方にお聞きします。
 ペットの入手方法について、次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

選択肢	回答者数 94	
	回答者数	構成比
ペットショップやブリーダーから購入した	40	42.6%
知人から譲り受けた	31	33.0%
保健所などの行政機関から譲り受けた	8	8.5%
譲渡会や新聞・情報誌を利用して譲り受けた	4	4.3%
拾った	21	22.3%
その他	5	5.3%



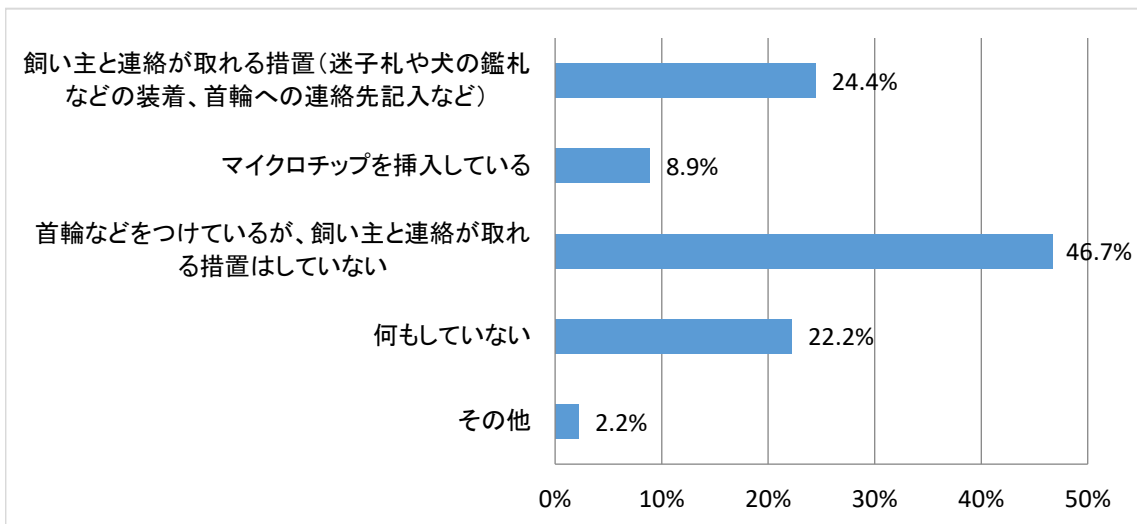
【問8】問5で「飼っている」と答えた方にお聞きします。
 あなたは、日頃からペットの災害時の対策を講じていますか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

選択肢	回答者数 94	
	回答者数	構成比
ペットの脱走防止	21	22.3%
名札などの装着	13	13.8%
動物の避難場所の想定	7	7.4%
ペットと一緒に避難するためのペット用品の確保	24	25.5%
何もしていない	49	52.1%
その他	1	1.1%



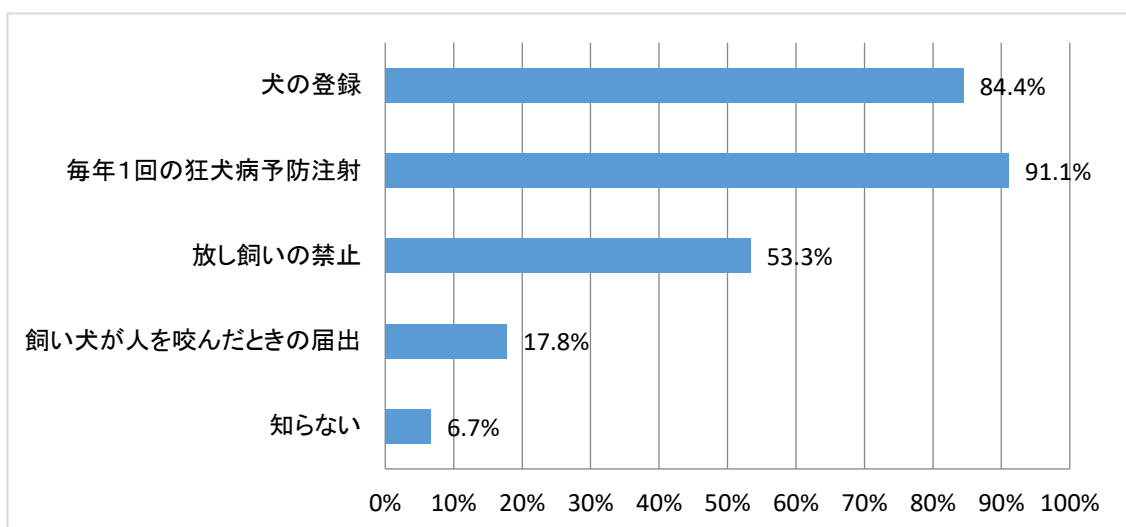
【問9】飼っている犬が迷子になったときの対策をしていますか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

		回答者数 45	
選択肢	回答者数	構成比	
飼い主と連絡が取れる措置(迷子札や犬の鑑札などの装着、首輪への連絡先記入など)	11	24.4%	
マイクロチップを挿入している	4	8.9%	
首輪などをつけているが、飼い主と連絡が取れる措置はしていない	21	46.7%	
何もしていない	10	22.2%	
その他	1	2.2%	



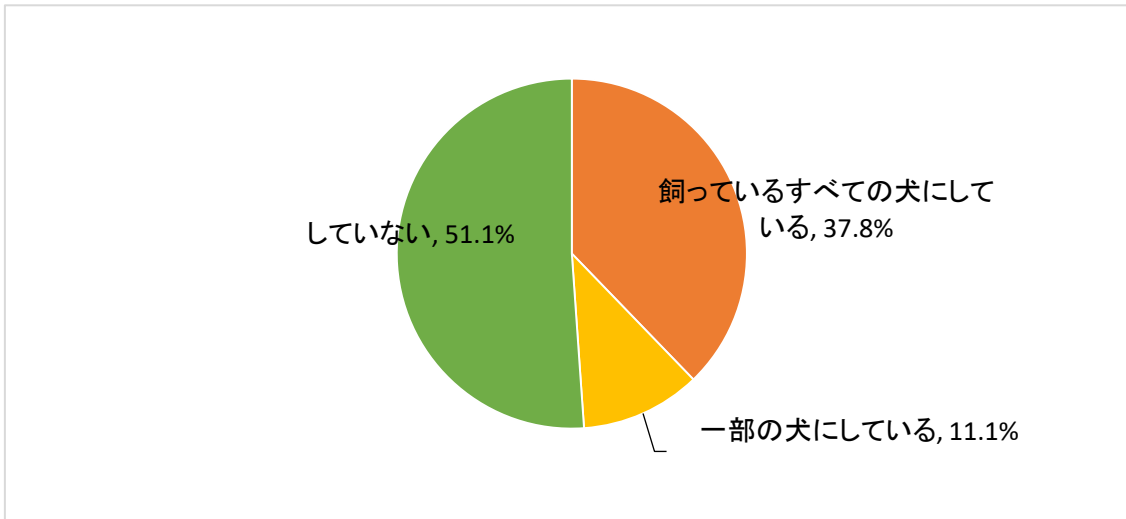
【問10】犬の飼い主に、法律や条例で義務付けられていることについて知っているものすべてに○を付けてください。

		回答者数 45	
選択肢	回答者数	構成比	
犬の登録	38	84.4%	
毎年1回の狂犬病予防注射	41	91.1%	
放し飼いの禁止	24	53.3%	
飼い犬が人を咬んだときの届出	8	17.8%	
知らない	3	6.7%	



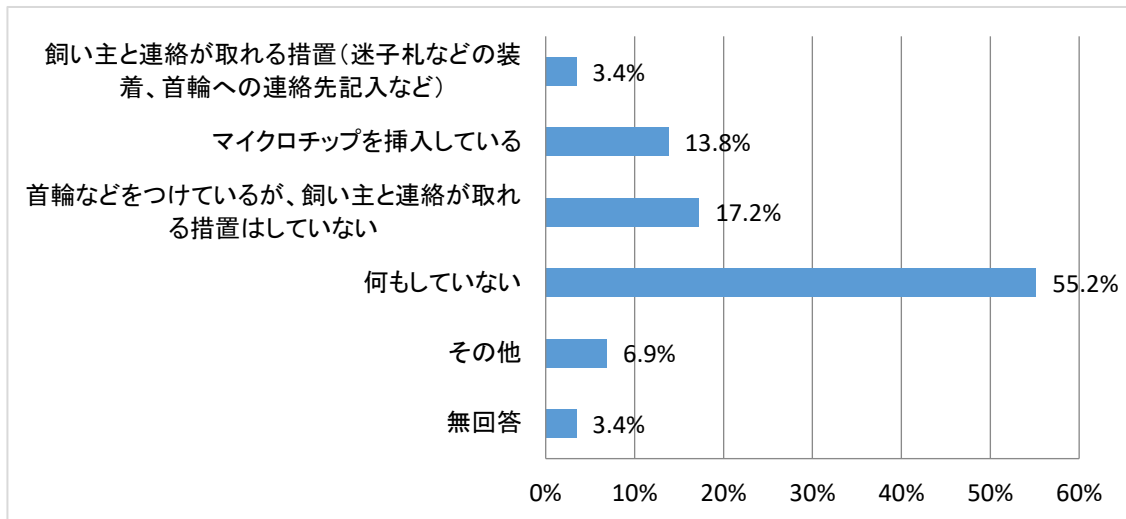
【問11】犬の不妊・去勢手術をしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
飼っているすべての犬にしている	17	37.8%
一部の犬にしている	5	11.1%
していない	23	51.1%
計	45	100.0%



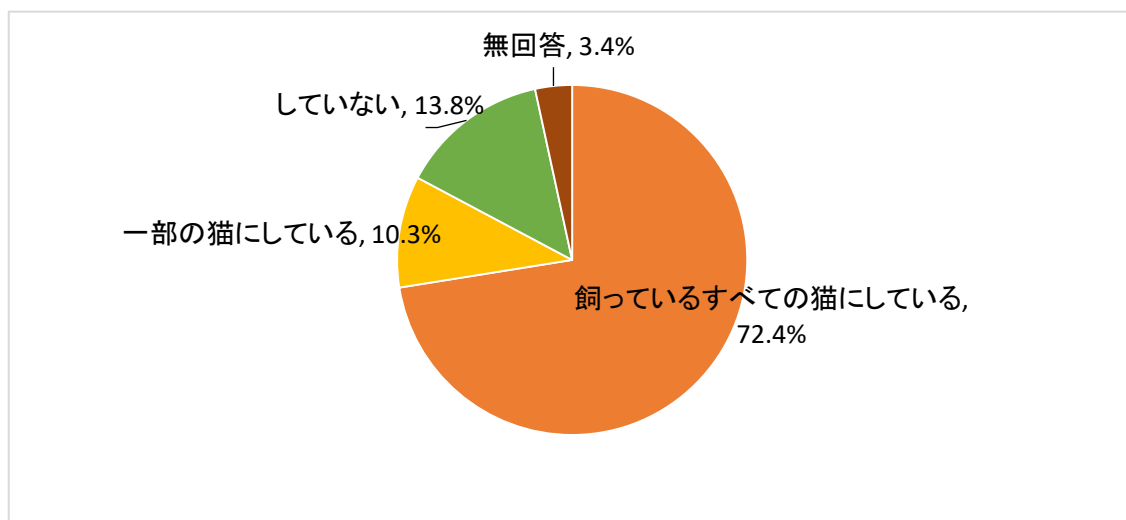
【問12】飼っている猫が迷子になったときの対策をしていますか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

選択肢	回答者数 29	
	回答者数	構成比
飼い主と連絡が取れる措置(迷子札などの装着、首輪への連絡先記入など)	1	3.4%
マイクロチップを挿入している	4	13.8%
首輪などをつけているが、飼い主と連絡が取れる措置はしていない	5	17.2%
何もしていない	16	55.2%
その他	2	6.9%
無回答	1	3.4%



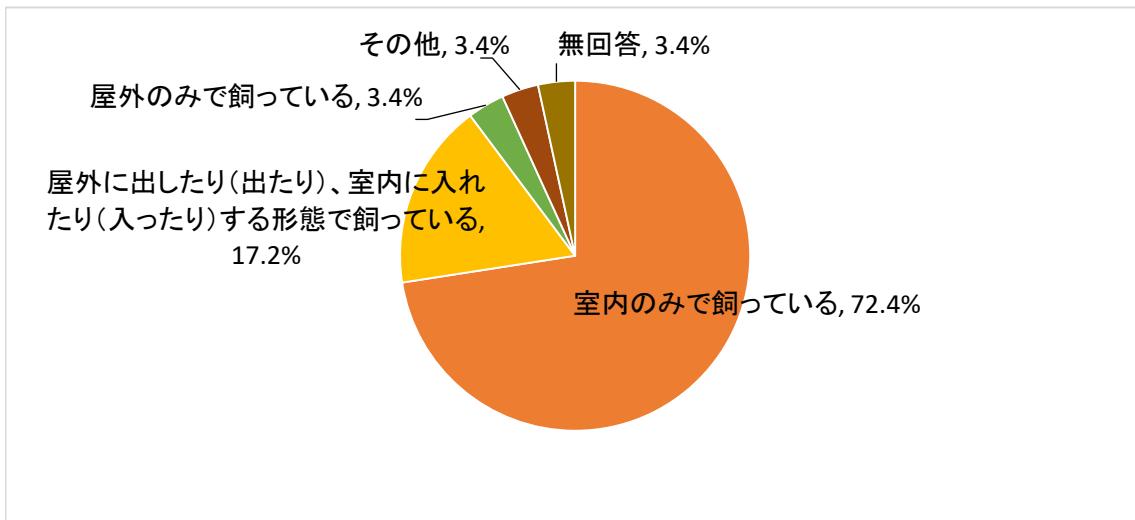
【問13】猫の不妊・去勢手術をしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
飼っているすべての猫にしている	21	72.4%
一部の猫にしている	3	10.3%
していない	4	13.8%
無回答	1	3.4%
計	29	99.9%



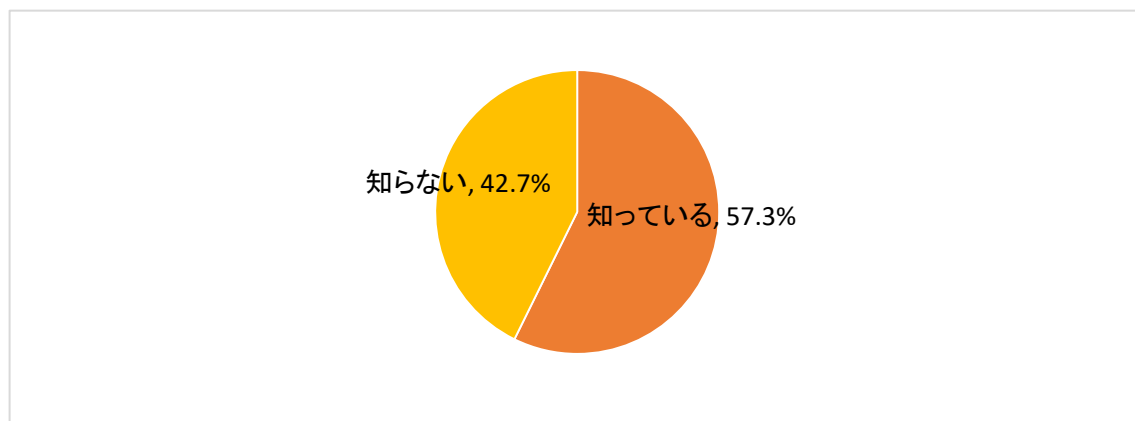
【問14】どのようにして猫を飼っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
室内のみで飼っている	21	72.4%
屋外に出したり(出たり)、室内に入れたり(入ったり)する形態で飼っている	5	17.2%
屋外のみで飼っている	1	3.4%
その他	1	3.4%
無回答	1	3.4%
計	29	99.8%



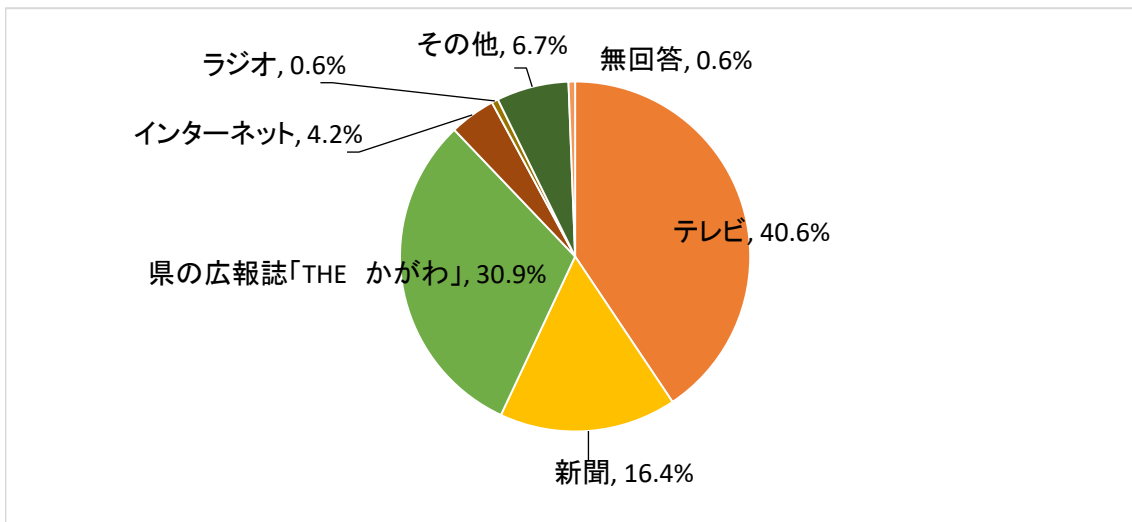
【問15】平成31年3月、高松市東植田町に開所した「さぬき動物愛護センター しっぽの森」のことを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	165	57.3%
知らない	123	42.7%
計	288	100.0%



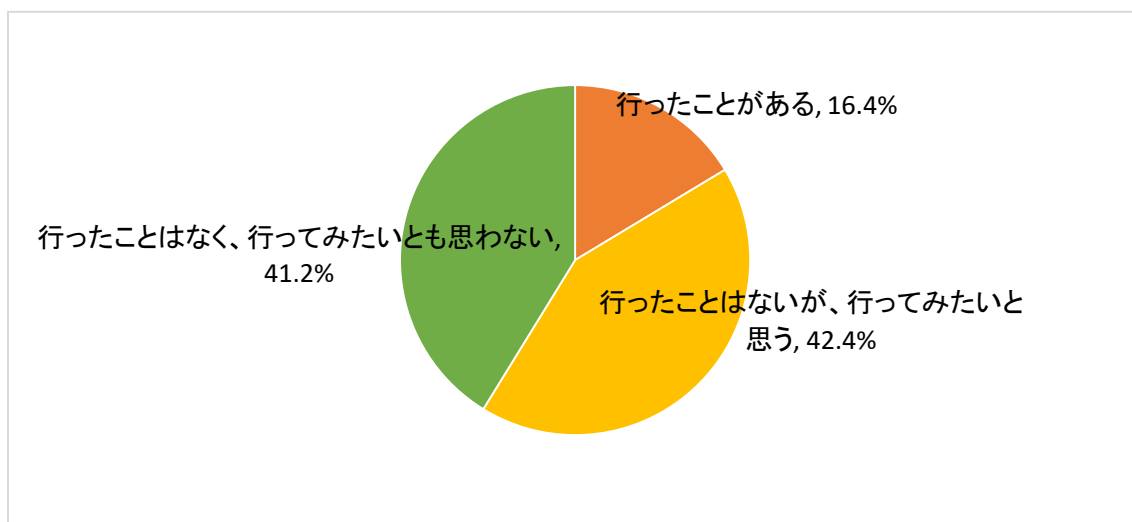
【問16】 問15で「知っている」と答えた方にお聞きします。
 「さぬき動物愛護センター しっぽの森」のことを何で知りましたか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
テレビ	67	40.6%
新聞	27	16.4%
県の広報誌「THE かがわ」	51	30.9%
インターネット	7	4.2%
ラジオ	1	0.6%
その他	11	6.7%
無回答	1	0.6%
計	165	100.0%



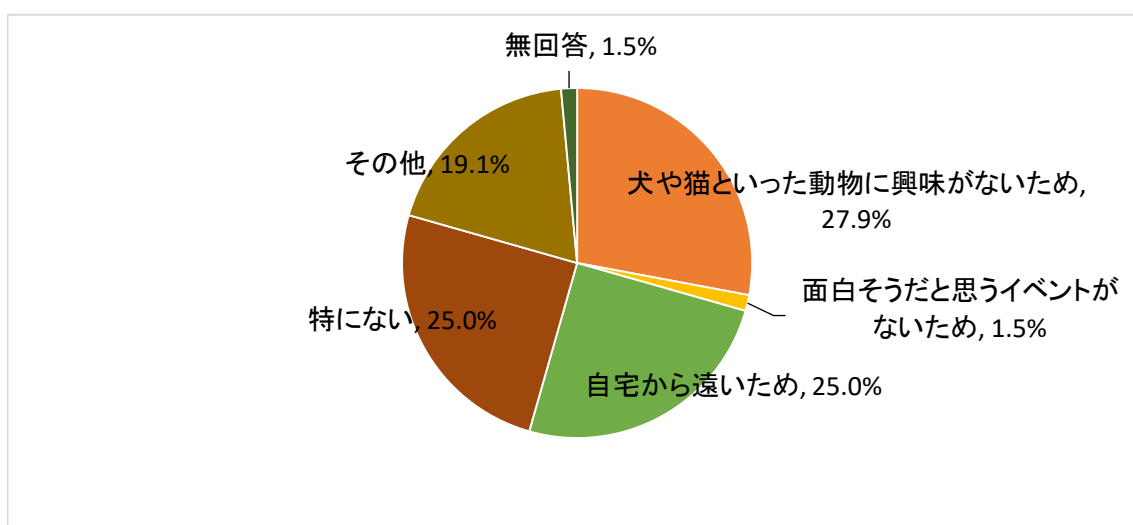
【問17】 問15で「知っている」と答えた方にお聞きします。
 「さぬき動物愛護センター しっぽの森」に行ったことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
行ったことがある	27	16.4%
行ったことはないが、行ってみたいと思う	70	42.4%
行ったことはなく、行ってみたいとも思わない	68	41.2%
計	165	100.0%



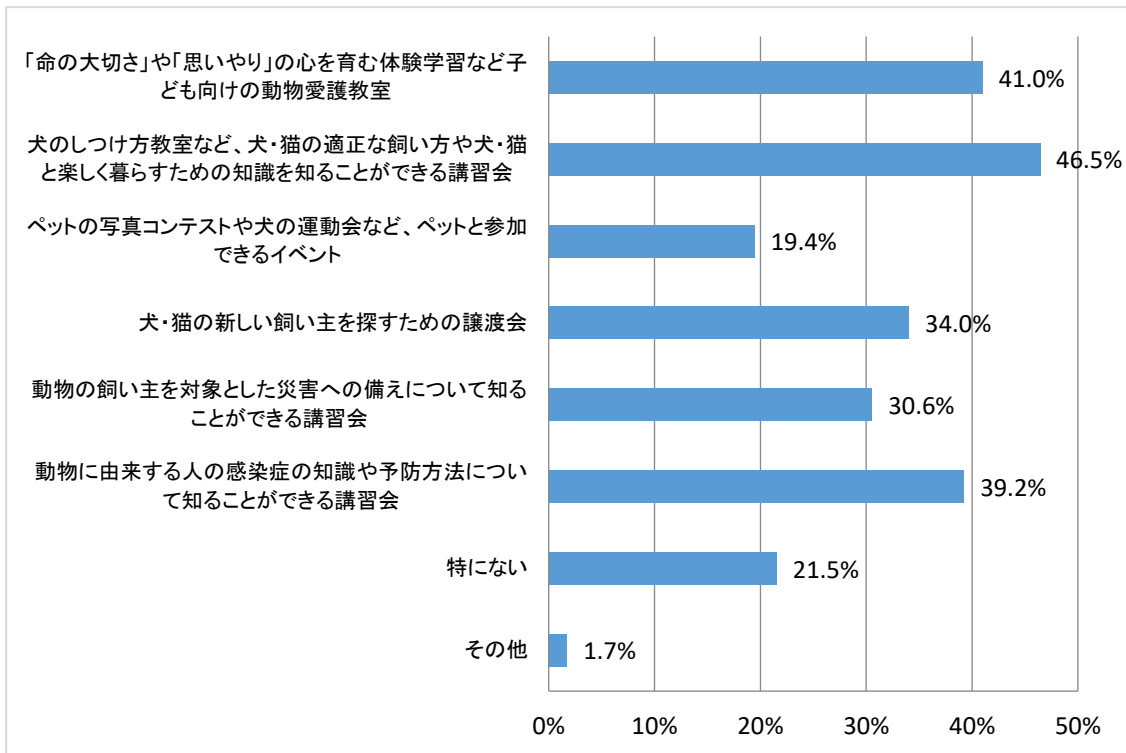
【問18】 問17で「行ったことはなく、行ってみたいとも思わない」と答えた方にお聞きします。
 「さぬき動物愛護センター しっぽの森」に行ってみたくとも思わない理由は何ですか。主な理由について1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
犬や猫といった動物に興味がないため	19	27.9%
面白そうだと思うイベントがないため	1	1.5%
自宅から遠いため	17	25.0%
特にない	17	25.0%
その他	13	19.1%
無回答	1	1.5%
計	68	100.0%



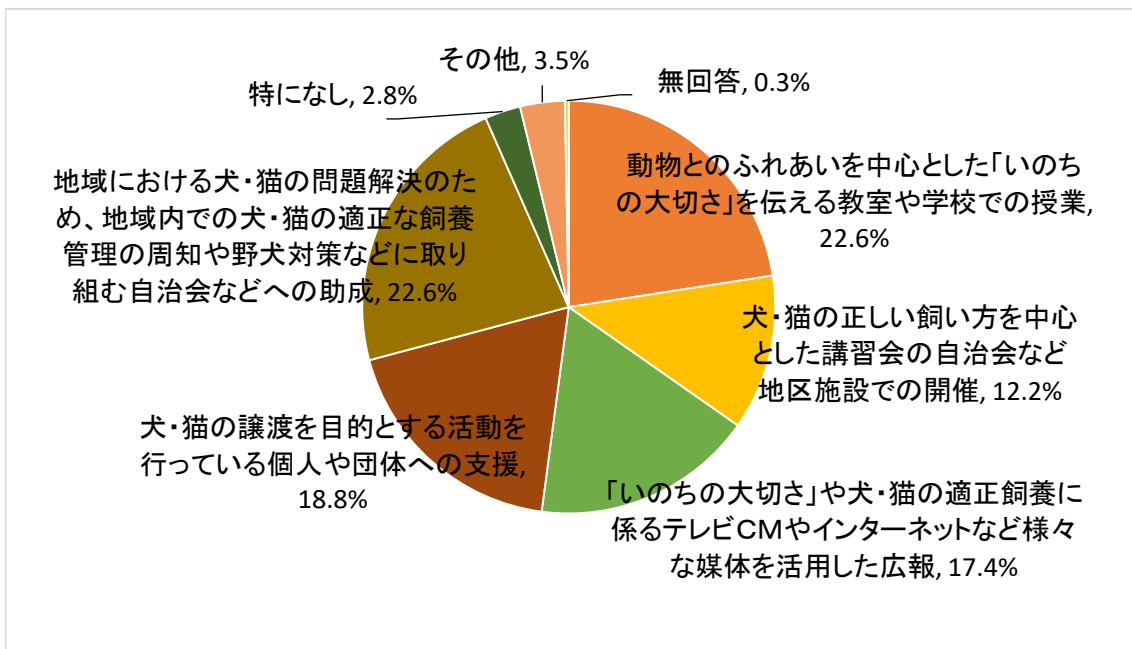
【問19】ここからは全員の方にお聞きします。
 あなたが参加してみようと思う「さぬき動物愛護センター しっほの森」の事業はどれですか。参加してみたいと思う事業について、次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

選択肢	回答者数 288	
	回答者数	構成比
「命の大切さ」や「思いやり」の心を育む体験学習など子ども向けの動物愛護教室	118	41.0%
犬のしつけ方教室など、犬・猫の適正な飼い方や犬・猫と楽しく暮らすための知識を知ることができる講習会	134	46.5%
ペットの写真コンテストや犬の運動会など、ペットと参加できるイベント	56	19.4%
犬・猫の新しい飼い主を探すための譲渡会	98	34.0%
動物の飼い主を対象とした災害への備えについて知ることができる講習会	88	30.6%
動物に由来する人の感染症の知識や予防方法について知ることができる講習会	113	39.2%
特にない	62	21.5%
その他	5	1.7%



【問20】 今後、動物愛護管理事業として、県が最も取り組むべきと思われる事業を次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
動物とのふれあいを中心とした「いのちの大切さ」を伝える教室や学校での授業	65	22.6%
犬・猫の正しい飼い方を中心とした講習会の自治会など地区施設での開催	35	12.2%
「いのちの大切さ」や犬・猫の適正飼養に係るテレビCMやインターネットなど様々な媒体を活用した広報	50	17.4%
犬・猫の譲渡を目的とする活動を行っている個人や団体への支援	54	18.8%
地域における犬・猫の問題解決のため、地域内での犬・猫の適正な飼養管理の周知や野犬対策などに取り組む自治会などへの助成	65	22.6%
特になし	8	2.8%
その他	10	3.5%
無回答	1	0.3%
計	288	100.2%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。